

【事例 H24-06-39】大分県竹田市

高齢者の企業面接・介護予防事業の活用

大分県竹田市の介護予防事業「おしゃべりサロン・湯ったりふれあいサロン」では、居場所だけでなく、こころの健康相談会やこころの健康について普及啓発を行うとともに、アンケートを行い、自殺ハイリスク者へは後日、戸別訪問を行っている。

【実施主体】大分県竹田市

【大綱の分類】社会的な取組で自殺を防ぐ

【事業予算】平成23年度 1,194千円

【利点】①自殺のハイリスクとなる求職者・失業者の参加がある就職セミナー&合同企業面接会で、個別相談を行うことで、悩みを相談しやすくなり、個別に対応でき、悩み等の軽減を図ることが期待できる。②10人程度の少人数で実施している「おしゃべりサロン」で普及啓発や個別相談を行うことで、高齢者が悩みを相談しやすい。

【実施に至るまで】

- ① 就職セミナー&合同企業面接会における「かんたん！ ストレスチェック& こころの健康相談コーナー」の設置
- ② 介護予防事業「おしゃべりサロン・湯ったりふれあいサロン」におけるこころの健康相談会

【背景・必要性・理由の概要・等】

- ① 竹田市では雇用の不足により、合同企業面接会を実施。
- ② 自殺比は県内ワースト4位であり、高齢者の男性の自殺が多い。

【計画を立てる上での工夫・等】

企画運営は、担当課保健師が対応した。

【具体的な内容・実施の過程】

- ① 企業合同説明会の会場の入り口に、「ストレスチェック」を設け、気軽に立ち寄っていただいた。さらに、メンタルヘルス支援の必要な人には個別支援を行うことを目的に相談コーナーを設置した。
- ② おしゃべりサロン・湯ったりふれあいサロンで健康相談会を行い普及啓発するとともに、スクリーニングを行い、自殺ハイリスク者には戸別訪問を行う。
*スクリーニングは個別にて保健師・精神保健福祉士、普及啓発は集団にて作業療法士が行った。

【成果】

参加者が「就労面接」を目的に来場されているので積極的にコーナーに立ち寄る状況ではなかった。しかし、個別に話を伺うと「眠れない」や「先々に不安がある」と訴える人もいた。

【補 足】②おしゃべりサロン・湯ったりふれあいサロンの自殺ハイリスク者は個別訪問でフォローするとともに、地域包括支援センターとも情報共有し、継続支援を実施。

【課 題】

主催者からは、参加者の 1 割は障害、1 割はメンタルヘルスに問題を抱えている。そのため相談コーナーを設置する試みは意義深い。ハローワーク職員からは「求職相談の際、メンタルヘルスに問題を抱えている人に対して市役所に相談するようにアドバイスするが本人は行かないので、今回の事業のように連携して開催するのは非常に助かる」との意見。

【事業種別】 対面型相談支援事業

【準備期間・人数】 (不明)

【予防段階】 1 次予防

【自治体規模】 人口 2 万 5 千人 (平成 23 年度)

【自治体負担率】 無し

【事業対象】 求職者・高齢者

【支援対象】 求職者・高齢者

【実施主体・問合せ先】 大分県竹田市役所 保険健康課

TEL: 0974-63-4810

E-mail: kenkou@city.taketa.lg.jp

【参考資料・文献】厚生労働省における自殺・うつ病対策レポート (2010. 5. 28)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/jisatsu/torimatome.html>